

さいたま市文化財時報

かや
権りほーと
第82号

さいたま市誕生20年
 — 市指定文化財20年の足跡 —

平成13年5月1日に浦和市・大宮市・与野市の3市が合併して新市「さいたま市」が誕生、平成17年の岩槻市合併を経て、今年で20周年を迎えました。現在、さいたま市内にある指定文化財は527を数えます。

ここでは、さいたま市誕生以降20年の間に新たに市指定となった文化財を紹介します。いずれも各地域で大切に守られてきた文化的所産であり、地域の歴史、文化、生活などを知るうえで重要な存在です。

市内の指定文化財を多数所蔵するさいたま市立博物館では、さいたま市誕生20周年記念関連事業として、近年指定された文化財を中心とした特別展を開催します。

有形文化財

○ 建造物

- ・ 駒形権現神社須賀神社本殿(平成19年 3月) ☆
- ・ 大宮氷川神社撰社門客人神社本殿・撰社天津神社本殿・末社御嶽神社本殿(平成23年 3月)
- ・ 太田諏訪神社本殿(平成26年 3月) ☆
- ・ 与野小村田氷川神社本殿 附棟札奉造立寶永六己丑歳五月吉祥日の記があるもの(平成28年11月) ☆

○ 絵画

- ・ 廓信寺紙本着色釈迦涅槃図 服部尚匡筆(平成14年 8月)

○ 彫刻

- ・ 廓信寺鳳凰文欄間 服部尚匡作(平成14年 8月)
- ・ 廓信寺木造金剛力士立像(平成20年 3月)
- ・ 観音寺木造聖観音菩薩立像(平成29年 3月) ☆

○ 工芸品

- ・ 浦和仲町の神酒杵(平成17年 3月)

○ 古文書

- ・ 井上家文書(平成17年 3月)
- ・ 北澤家文書(平成18年 3月)



▲市立博物館特別展ポスター

※ 1ページ、2ページ ()内年月は指定年月
 ※ 末尾の ☆ マークは市立博物館特別展で紹介予定の文化財

○考古資料

- ・松木遺跡出土土偶(平成14年 3月)
- ・側ヶ谷戸古墳群11号古墳出土埴輪(平15年 4月)
- ・上太寺遺跡 2号方形周溝墓出土ガラス小玉及び台付甕形土器(平成16年 3月)
- ・諏訪坂遺跡 1号・2号住居跡出土遺物(平成17年 3月)
- ・大久保領家遺跡出土常滑焼大甕 附ガラス小玉 4点(平成22年 3月)
- ・馬場小室山遺跡第51号土壇出土縄文土器(平成24年 3月) ☆
- ・稲荷原遺跡出土縄文時代早期土器及び石器(平成26年 3月) ☆

○歴史資料

- ・坂東家文書(平成15年 4月)
- ・天保十一年銘秋葉神社算額(平成16年 3月)
- ・東泉寺阿弥陀三尊画像板石塔婆(平成16年 3月)
- ・岩槻城并侍屋敷城下町迄総絵図(平成25年 3月) ☆



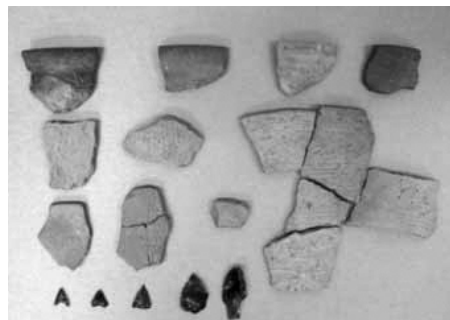
▲与野小村田氷川神社本殿



▲馬場小室山遺跡第51号土壇出土縄文土器

有形民俗文化財

- ・今羽ささら獅子舞天幕、獅子頭及び天狗面(平成19年 3月)
- ・福寿庵百観音(平成21年 3月)
- ・中郷薬師堂の元禄十三年無食供養塔(平成25年 3月) ☆
- ・「岩槻の古式土俵入り」笹久保地区の天幕(平成27年 3月) ☆



▲稲荷原遺跡出土縄文時代早期土器及び石器

無形民俗文化財

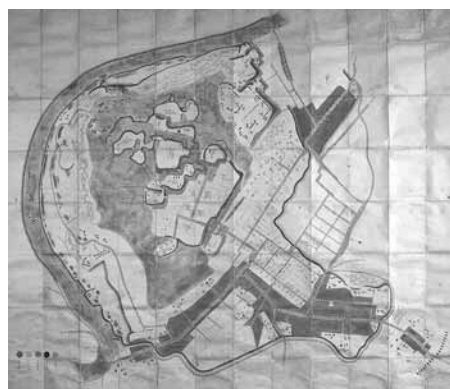
- ・指扇の餅搗き踊り(平成15年 4月)
- ・南部領辻の獅子舞(平成15年 4月)
- ・鹿手袋の祭ばやし(平成28年 3月) ☆

史跡

- ・岩槻藩主阿部家の墓(平成18年 3月)

天然記念物

- ・正圓寺のドウダンツツジ(平成14年 3月)
- ・岩槻小学校のイチヨウ(平成19年 3月)
- ・法光寺のシイノキ(平成23年 3月)
- ・小室社のタブノキ(平成24年 3月) ☆
- ・砂氷川社のクスノキ(平成30年 3月) ☆
- ・砂氷川社のモミ(平成30年 3月) ☆



▲岩槻城并侍屋敷城下町迄総絵図



▲鹿手袋の祭ばやし

さいたま市立博物館で特別展「悠久の年月を越えて —新指定の文化財を中心に—」が開催されます

さいたま市誕生20年を記念して、さいたま市立博物館で「悠久の年月を越えて—新指定の文化財を中心に—」が開催されます。

本展は、文化財の活用を図りながら保存することの意義について考えることをテーマにしています。前項で紹介した市指定文化財も多数展示(写真パネルを含む)されますので、本展をさいたま市の指定文化財を知っていただく機会としていただければ幸いです。

- ・期 間 令和3年10月9日(土)～令和3年11月21日(日)(休館日：月曜日・11月4日(木))
- ・場 所 さいたま市立博物館特別展示室(大宮区高鼻町2-1-2)
- ・TEL 048-644-2322 FAX 048-644-2313
- ・時 間 9時～16時30分 入館無料

詳細情報はこちら▶



○原品展示予定の指定文化財

種 別	名 称
市指定(考古資料)	馬場小室山遺跡第51号土壌出土縄文土器
市指定(考古資料)	稲荷原遺跡出土縄文時代早期土器及び石器

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更などをする場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。市立博物館にお問い合わせください。

TOPICS

●さいたま市民憲章が制定されました

市制施行20周年を機に、市民の皆様から寄せられたさまざまな御意見をもとに、郷土への思いや市民としての誇りなどが込められた「さいたま市民憲章」が制定されました。

前文に続く5つの項目の冒頭には、さいたま市の歴史や、市が誇る文化・伝統を尊重し、積極的にそれらに親しみ、自らその担い手の一人として継承・発展させていこうとする市民の思いが込められています。

この機会に、市内の博物館や史跡などを訪ね、さいたま市の歴史や文化財に触れてみてはいかがでしょうか。

さいたま市民憲章

おらかな荒川の流れと、見沼んぼが豊かに広がる武蔵野のみどりにいだかれたさいたま市は、街道や鉄道のかなめとしてにぎわい、歴史をかさねてきました。先人たちはここに集い、学び、祈り、美しさと深い味わいをたたえた独自の文化を育て、教育やスポーツのさかんな風土を培ってきました。このまちを誇りとし、ともに時をかさねる私たちさいたま市民は、だれもが自分らしく生きてゆける社会を築きたいと願い、このまちを未来につなぐ確かな道しるべとして、ここにさいたま市民憲章を刻みます。

私たちは、

まちの歴史や伝統を受け継ぎ豊かにはぐくんで、明日の世代に伝えます。
 小さないのちの大きな未来を信じて、子どもをみんなで支えてゆきます。
 みずから学び言葉をみがき、新たな挑戦を志し、自分を耕しつづけます。
 深く思いやり、広く理解し手をとりあって、ちがいを力にしてゆきます。
 空も水も、草木も花も里山も、ともにある美しい都市を創ってゆきます。

市制施行20周年記念
 令和3年7月1日制定

●浦和博物館がリニューアルオープンしました

令和2年7月から中規模修繕工事を行っていた浦和博物館が令和3年7月1日に装いを新たにリニューアルオープンしました。

埼玉県師範学校の校舎、通称「鳳翔閣」の一部を復元した建物外観が改装され、展示室内のレイアウトも一新されました。

展示室には、約40点の指定文化財を含む100点以上の資料が展示されています。

場所 緑区三室2458 TEL・FAX 048-874-3960

開館時間 9時～16時30分 入館無料

休館日等

詳細情報はこちら ▶



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更などをする場合があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。どうか、浦和博物館にお問い合わせください。



▲リニューアルした浦和博物館外観

●無形民俗文化財保存団体の活動を報告します

新型コロナウイルスの影響で活動の制限がされている中、無形民俗文化財の保存団体が、2年ぶりに公の場で活動を再開しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての再開でしたが、地域の夏の風物詩がもどってきた様子を紹介します。

●秋葉ささら獅子舞

- ・日時 令和3年7月17日(土)
- ・会場 秋葉神社(西区中釘818)、
秋葉三尺坊(西区中釘1699)

秋葉神社及び秋葉三尺坊で獅子頭のお披露目と笛方、太鼓及びささらの演奏を行いました。



▲笛方とささらの演奏

●駒形の祭ばやし

- ・日時 令和3年7月18日(日)
- ・会場 須賀神社(緑区中尾1430-3)ほか

底抜け屋台と呼ばれる屋台で駒形地区を巡行しました。



▲当日のお囃子の構成